

小田原市議 佐々木ナオミの

議会な日々ニュース #1126

extra

携帯電話 080-5484-1634

メール love-and-peace@naomi-sasaki.com

発行責任者 佐々木ナオミ 〒250-0874 小田原市鴨宮 831-7 tel&fax 0465-49-3732 HP http://naomi-sasaki.com/



号外

新市民ホール、今後の方向性が明らかに！ほぼ白紙に戻る!?

入札不調から120日 市長の決断

11月17日、新しい市民ホール（芸術文化創造センター）に関する議員説明会と、午後は厚生文教常任委員会が開かれました。

入札不調に伴い、市長から今後の方向性として4つの案、延期、設計見直し、分割、事業提案が示され、それについて、9月議会や9月に行われた市民との意見交換会、さらには、事業者に事前に意向を聴くというサウンディング型市場調査を経て、市長の方向性が示されました。

市民参加型の検討、すべて無駄に？ 民間業者に丸投げか？

結論としては、「実施設計にとらわれない自由な発想による事業提案を軸に、整備の可能性を探っていく」というもの。

相変わらず、何だかよくわかりませんが、具体的には、これまでの新居千秋氏の設計は白紙にして、業者選定まで戻る。基本的なコンセプト、機能や諸室などが示された基本計画をベースとした事業提案のための要求水準を作るけれど、場合によっては、柔軟に対応する。

なんだか、一からやり直しとどう違うんだろうか？新居千秋氏の設計料約2億円も、市民参加型で検討してきた時間も労力も、全てを無駄にし、民間事業者の提案に頼る手法へと大転換。こんな混乱した状態で、本当に先へ進めるつもりなのか？わたしは大いに疑問です。

急いで進めて大丈夫？

市民軽視はゆるされない！

補助金や市民会館の老朽化など、急がねばならない問題はあるにしろ、ここで焦ったら「こんなはずじゃなかった！」と将来に禍根を残すことになりそうです。ここまでちゃぶ台を返すなら、市民の合意は丁寧に取らねばならないはずです。

11月28日の市民説明会は大荒れ！

議員説明会も委員会も、疑問、批判の嵐。そして、市民の反応はどうなのか。11月28日には生涯学習センターけやきのホールで市民説明会が開かれました。当日は、この計画に熱心に参画してきた市民が多く参加し、白紙に戻して別の業者と随意契約するという方針に対して猛然と抗議しました。今回の不手際について市長に次ぐ責任者である文化部長の「みなさんの意向は最大限尊重する。」との答弁に納得する声は聞かれず、説明会は一時間も延長。ホール問題、まだまだ混乱は続きそうです。

